

東北横断自動車道釜石秋田線
東北横断自動車道釜石秋田線

^と ^お ^の 遠野 ~ ^み ^や ^も ^り 宮守
^み ^や ^も ^り 宮守 ~ ^と ^う ^わ 東和

1. 事業の目的と概要(1)

○事業目的

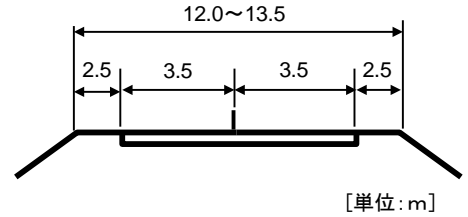
- ・東北横断自動車道釜石秋田線 釜石～花巻は、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトとして岩手県釜石市～花巻市に至る約80kmの復興支援道路（自動車専用道路）である。
- ・遠野～宮守・宮守～東和はその一部を形成し、内陸・沿岸地域の広域的な連携強化・交流促進、国道283号とのダブルネットワークによる信頼性向上、救急搬送時の速達性・安定性向上、地域産業の振興、現道隘路の解消等を目的とする道路である。



宮守～東和 計画概要

- とおのみやもりちようしほますざわ
- 起終点 : 自) 岩手県遠野市宮守町下鱒沢
至) 岩手県花巻市東和町安俵
- 延長 : 23.7 km
- 道路規格 : 第1種第3級 設計速度 : 80 km/h
- 都市計画決定 : 平成8年度
- 事業化 : 平成10年度 (平成15年度に直轄高速へ移行)
- 用地着手 : 平成17年度
- 工事着手 : 平成17年度
- 全線開通年度 : 平成24年度 (H24.11)

標準横断図(幅員)



平面図



遠野～宮守 計画概要

- とおのあやおりちようにつさと
- とおのみやもりちようしほますざわ
- 起終点 : 自) 岩手県遠野市綾織町新里
至) 岩手県遠野市宮守町下鱒沢
- 延長 : 9.0 km
- 道路規格 : 第1種第3級 設計速度 : 80 km/h
- 都市計画決定 : 平成8年度
- 事業化 : 平成15年度
- 用地着手 : 平成19年度
- 工事着手 : 平成19年度
- 全線開通年度 : 平成27年度 (H27.12)

1. 事業の目的と概要(2) 整備状況



1. 事業の目的と概要(3) 開通記事

早期復興への近道に

25日に開通した東北横断自動車道釜石花巻道路の東和～宮守(総延長約7.7km)は、復興支援道路の開通第1号だ。住民らは地域の産業や観光に活路を見出し、復興をけん引する大動脈の延伸に歓迎している。

【本誌1面】

江刺市をむかへ、釜石市と宮守市を結ぶ。被災した人々と物資や情報を結びつける近道が、開通した。東和と宮守の間は、約7.7kmの距離で、約15分かかる。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。



遠野～宮守間が開通 東北横断道 広域連携促進へ

東北横断道「遠野～宮守」間の開通が、東北北部をまたがり、内陸部の経済発展を促す。遠野市と宮守市を結ぶ。被災した人々と物資や情報を結びつける近道が、開通した。東和と宮守の間は、約7.7kmの距離で、約15分かかる。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。



東北横断道釜石花巻道路 東和～宮守が開通 沿岸と内陸 交流後押し

開通した東北横断自動車道釜石花巻道路。東和～宮守間を走行する車は、16日午後3時24分、花巻市東和町を通過した。

今後の日程

東北横断自動車道釜石花巻道路(約11.6km)のうち、東和～宮守間(約7.7km)が開通した。残りの約3.9kmは、2012年12月に開通予定。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。

東北横断自動車道釜石花巻道路(約11.6km)のうち、東和～宮守間(約7.7km)が開通した。残りの約3.9kmは、2012年12月に開通予定。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。



区間	距離(km)	開通予定時期
東和～宮守	7.7	2012年11月
宮守～遠野	11.6	2012年11月25日
遠野～釜石	12.1	15年度内
釜石～宮守	9.0	約11年度内
宮守～遠野	約11	未定
遠野～釜石	9.5	07年3月
釜石～宮守	8.9	約9年度内



住民ら延伸祝う

関係者や住民ら、開通を祝う。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。開通後は、東和と宮守の間を、約15分かかる。

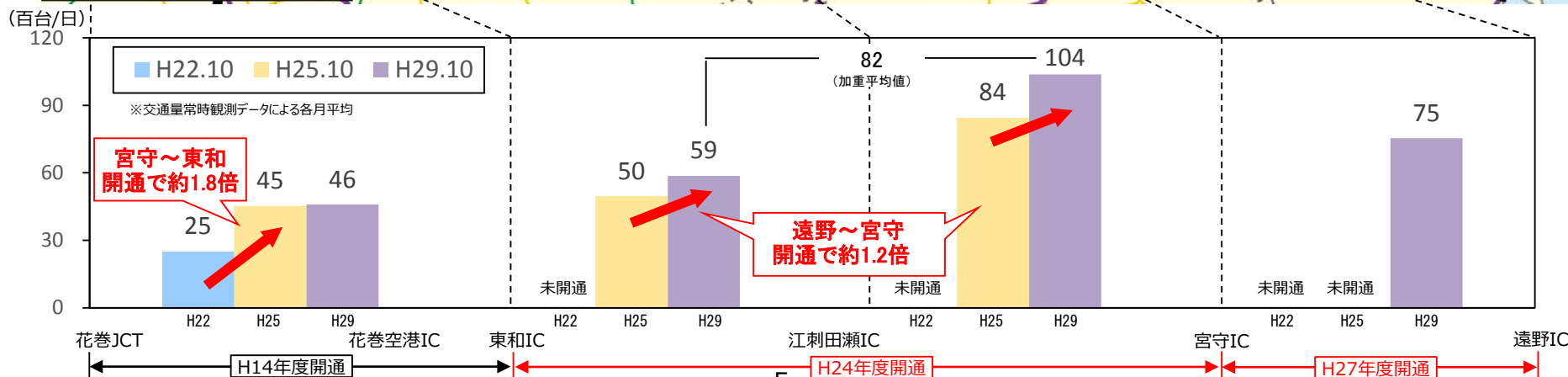


テープカットし、開通を祝う関係者＝花巻市東和町

2. 交通状況の変化等(1) 交通量

- ◆対象区間の最新の利用交通量は平均約59～104百台/日。
- ◆平成27年12月の遠野IC～宮守IC間開通で、宮守IC～東和IC間の交通量は約1.2倍に増加。

東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻) L=約80km

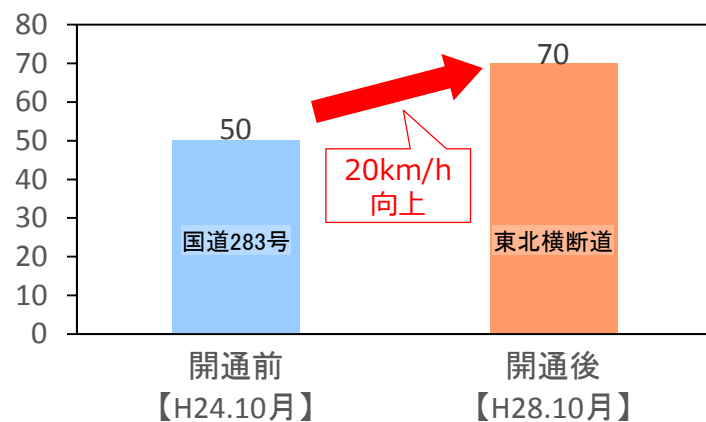


2. 交通状況の変化等(2) 所要時間等

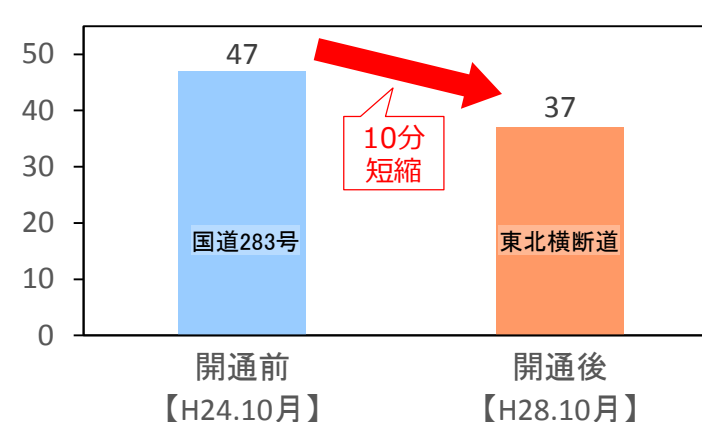
◆横断道を利用することで、花巻市～遠野市間の平均速度が20km/h向上し、所要時間が約10分短縮。



(km/h) ▼花巻市～遠野市間の平均速度の変化(市役所間)

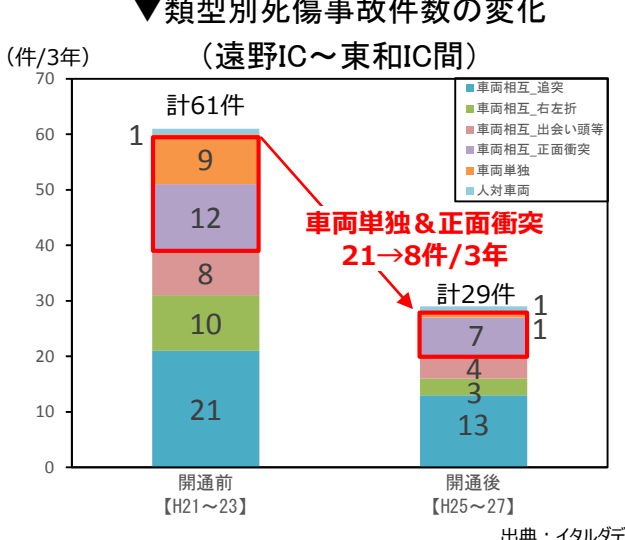
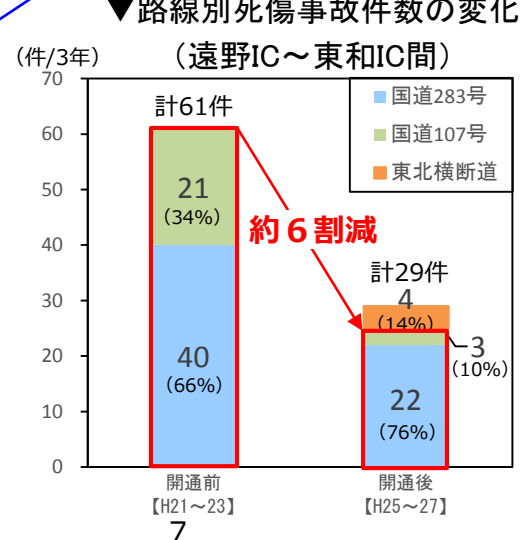
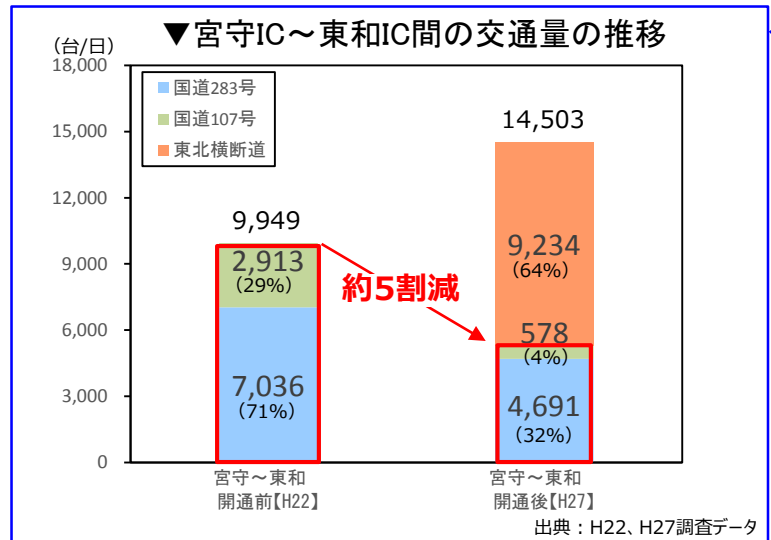


(分) ▼花巻市～遠野市間の所要時間の変化(市役所間)



3. 事業効果の発現状況(1) 事故減少

- ◆宮守IC～東和ICの開通前後で、現道の交通量は約5割減少、事故件数は約6割減少。
- ◆事故類型別では、線形不良箇所の回避により、「車両単独」と「正面衝突」が合わせて21→8件/3年に減少し、安全性が向上。



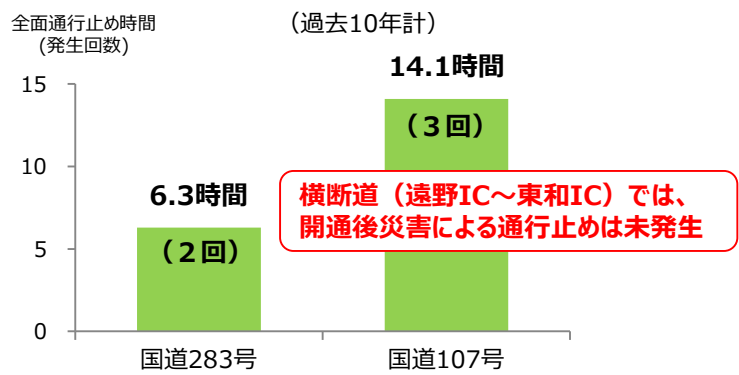
3. 事業効果の発現状況(2) 災害時の広域迂回解消

- ◆横断道に並行する国道283号と国道107号では、災害により過去10年間で5回(計20.4時間)の全面通行止めが発生。
- ◆平成28年1月、国道283号通行止め(大雪・倒木)が発生。横断道が無かった場合、一般道迂回ルートは所要時間は約3.3倍。
- ◆横断道ルートが大幅な迂回を回避し、災害時の信頼性を確保。

▼現道区間の災害通行止め発生状況 (H19～H28)



▼災害通行止め時間・回数

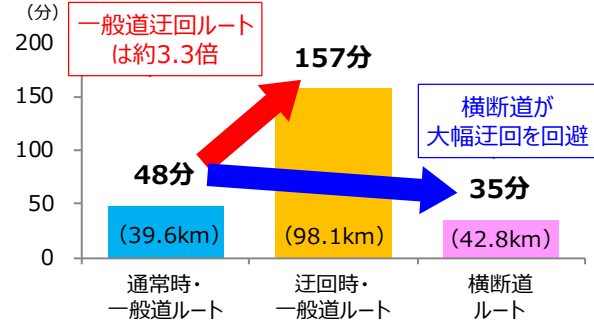


出典：岩手県 (H19～H28データ)

▼国道283号通行止め時の迂回ルート



▼花巻市～遠野市間の所要時間(市役所間)



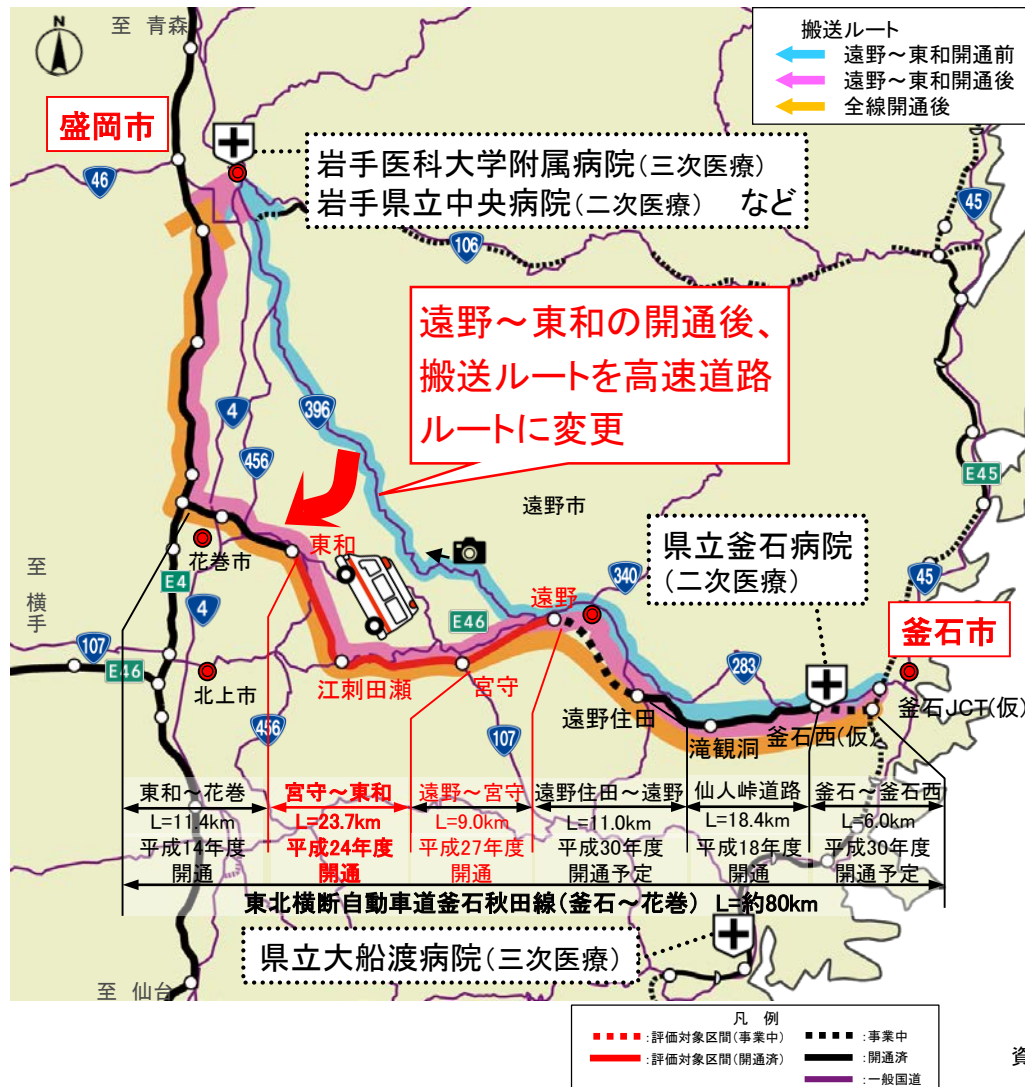
▼国道283号通行止め状況 (📷)



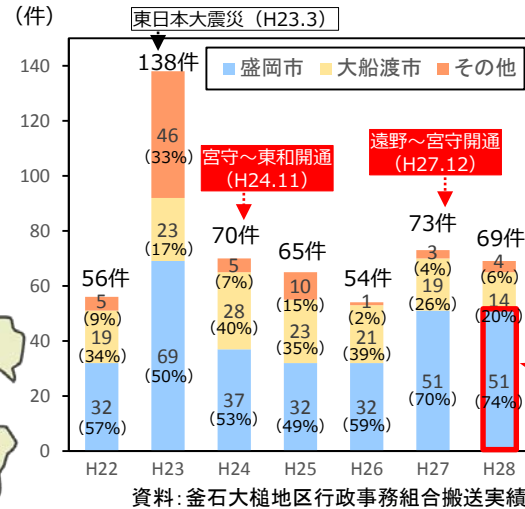
3. 事業効果の発現状況(3) 高次医療施設へのアクセス向上

- ◆釜石地域からの管外搬送のうち約7割が高次医療施設のある盛岡市へ搬送。
- ◆遠野～東和の開通以降、釜石地域からの救急搬送は高速道路ルートに変更し、患者の負担軽減や安定した搬送に寄与。

▼釜石地区から盛岡市の病院への搬送ルート



▼釜石地区外への搬送状況

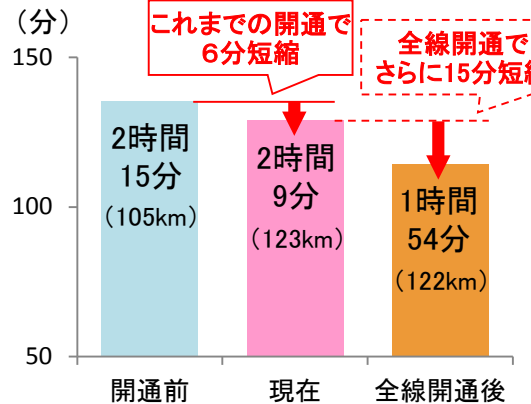


▼国道396号の急カーブ箇所を通行する救急車両(📷)



約7割が盛岡市へ搬送

▼釜石地区から盛岡地区への所要時間



《消防署の声》

- ◆患者に負担の少ない安定した搬送が可能となるため、救急搬送に東北横断道・東北縦貫道を利用するようになった。
- ◆今後の東北横断道の開通により、路面凍結による減速に苦慮することが少なくなり、また、時間短縮が期待される。

(H26.11 釜石大槌地区行政事務組合 釜石消防署ヒアリング)

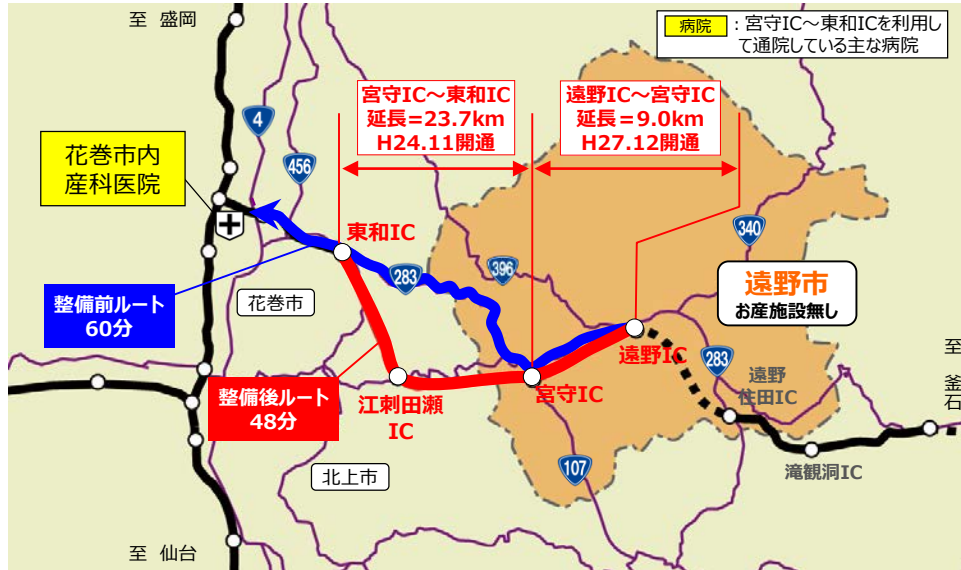
資料: H27調査非混雑時旅行速度
(東北横断道及び東北縦貫道は道路構造に応じた速度で算出)

3. 事業効果の発現状況(4) 妊婦さんの通院支援

- ◆産科医不在の遠野市では、花巻市等の病院で出産せざるを得ず、近くに無いため不安な状況。
- ◆遠野IC～東和ICが開通し、所要時間の短縮と急カーブ・急勾配箇所回避により、体の負担と不安感が緩和。

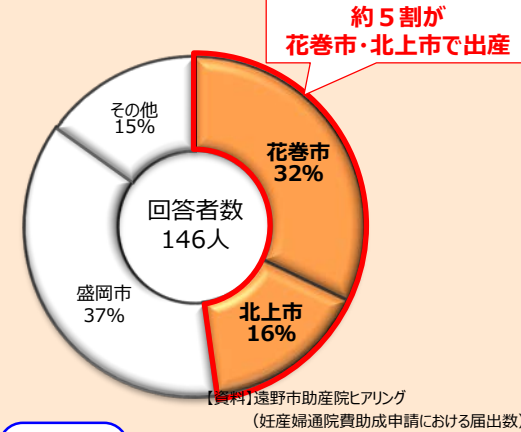
●遠野IC～東和IC間は花巻市・北上市への通院に使われています

▼(例)花巻市内産科医院へ通院する場合



※通院先：H25 遠野市在住妊産婦へのアンケート調査（岩手河川国道事務所調べ）
 ※所要時間：H27調査非混雑時旅行速度（東北横断道は道路構造に応じた速度で算出）

▼遠野市在住妊婦の出産市町村（H28年度）



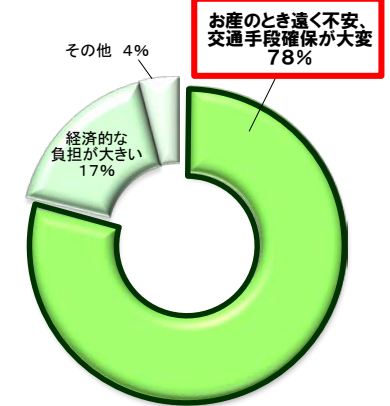
開通前

《遠野市助産院の声（H24開通前）》

- ◆出産を終えたばかりの妊婦さんが、今後の出産は控えたいと言うことが多くあります。
- ◆様々な事情や気持ちがあると思いますが、もちろん病院までが遠いという理由もあると思われます。

《H17 遠野市アンケートより》

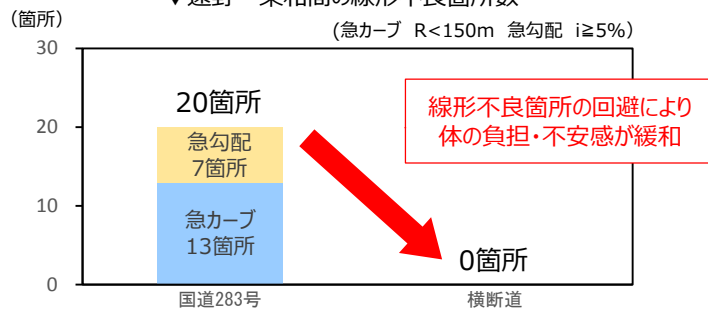
▼市内で出産できないことに不安を感じる理由



開通後 急カーブ・急勾配箇所の回避による負担軽減

▼遠野～東和間の線形不良箇所数

(急カーブ R<150m 急勾配 i≥5%)



《遠野市在住妊産婦さんの声》

- ・以前国道283号で通院していた時は上り坂になるとおなかが悪かったので、開通後はだいぶ楽になりました。
- ・以前は移動の途中で具合が悪くなることや事故などの不安がありましたが、開通後は病院への到着時間が短くなったので、お産になった時の不安が減りました。

(H25.6 アンケート結果)

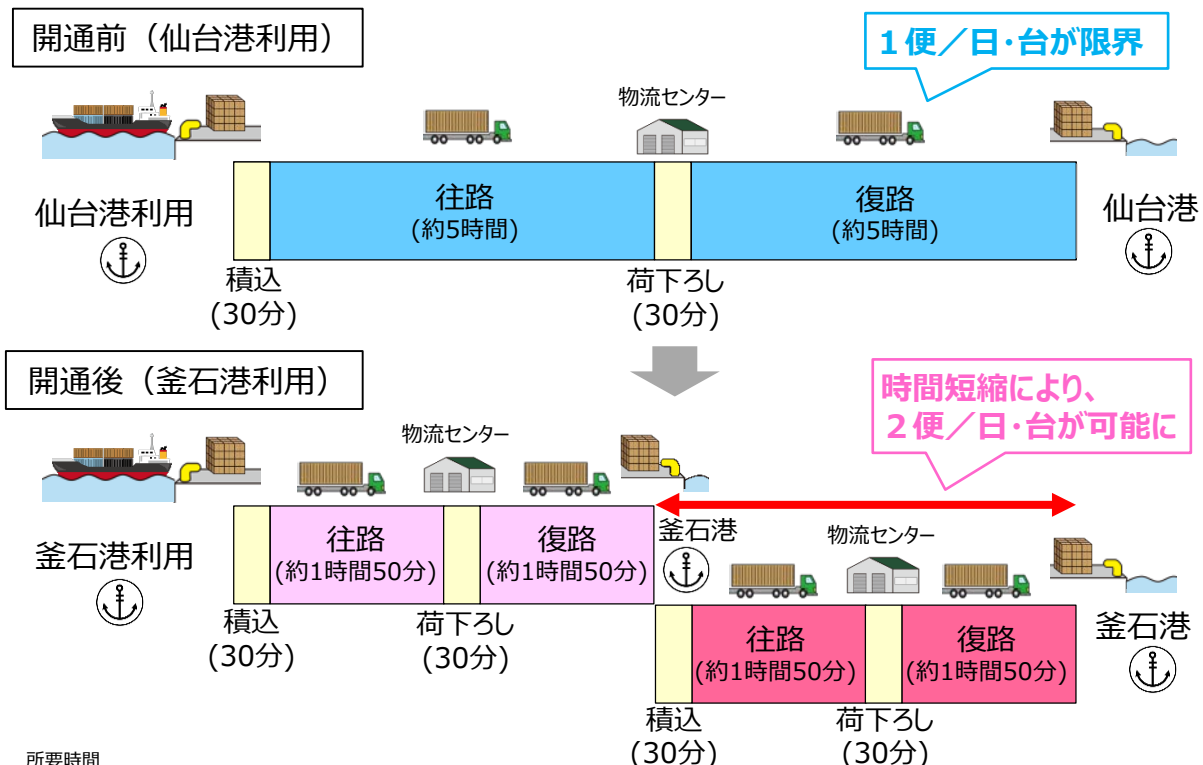
3. 事業効果の発現状況(5) 1/2 釜石港活用による物流効率化

- ◆自動車の電源供給等に用いられる部品を、製造拠点の1つである東南アジア(ベトナム、フィリピン等)から輸入。
横断道の順次開通により、国際フィーダーコンテナ定期航路が開設し、仙台港から釜石港へ輸送ルートを変更。(H28年夏～)
- ◆陸上輸送時間の短縮により更に1往復が可能となる等、輸送コストが削減し、輸送効率化を支援。

▼輸送ルート



▼輸送時間の変化



《企業の声》

- ◆釜石市と新規運航の海運会社の協力もあり、釜石港の利用へ変更しました。変更は**東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)の開通が大きな理由**です。
- ◆横断道の全線整備によって、更なる輸送効率化に期待しています。
- ◆無料の高速道路の利用により、所要時間の短縮が図られコスト削減へ役立っています。
(H28.12 企業ヒアリング調査結果)

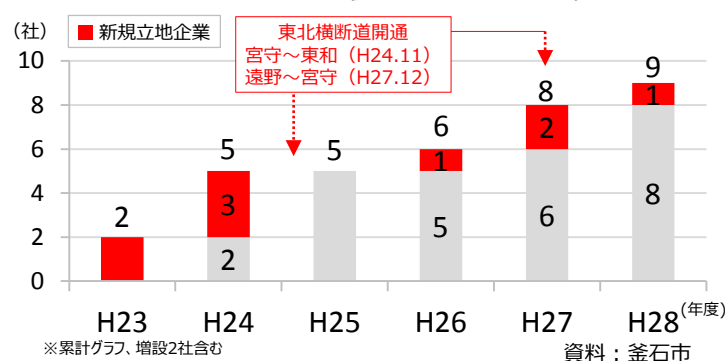
3. 事業効果の発現状況(6) 釜石港利活用による税収増加等

- ◆横断道の延伸とともに、釜石港の一般貨物コンテナ取扱量・利用企業数が増加。
- ◆釜石市立地企業も伸び、法人市民税も大幅増加。

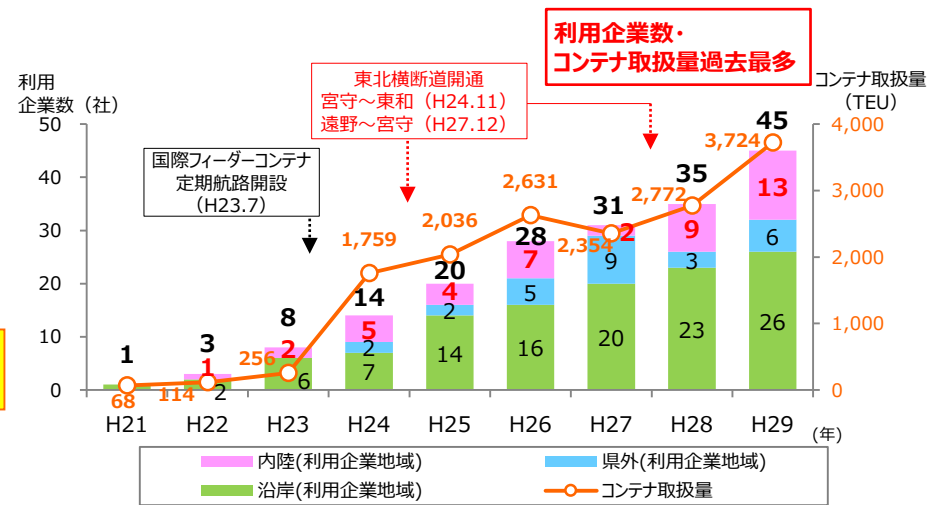
▼内陸部と釜石港の物流ルート



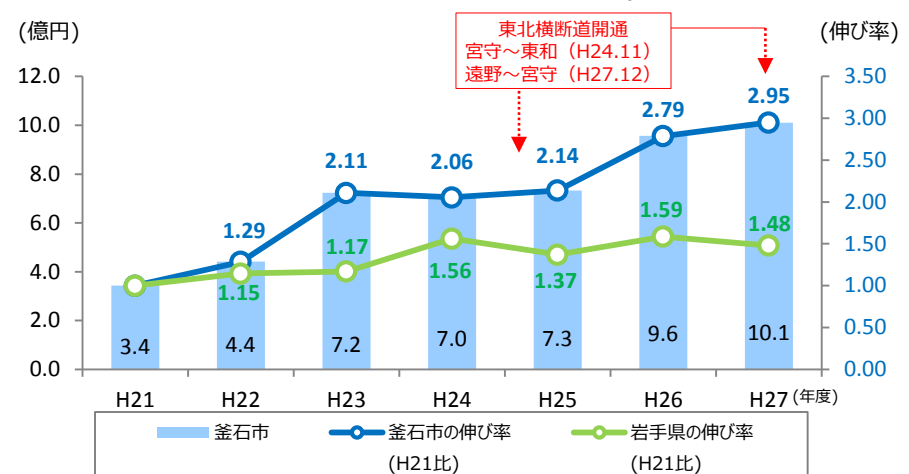
▼釜石市と立地協定を締結した企業



▼釜石港利用企業数・一般貨物コンテナ取扱量の推移



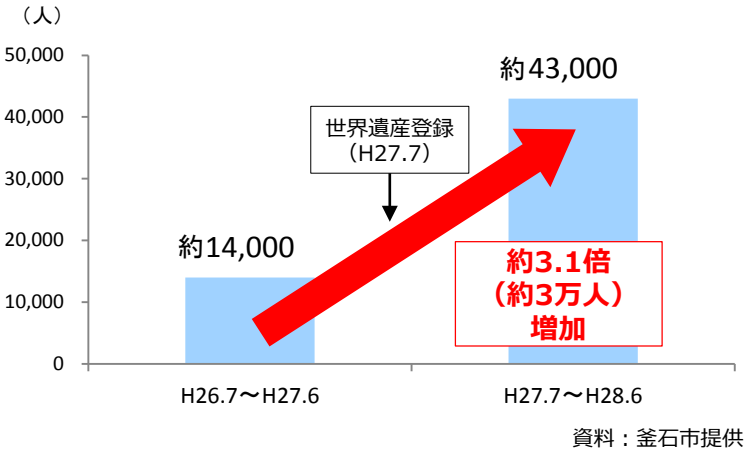
▼法人市民税の推移 (釜石市)



3. 事業効果の発現状況(7) 世界遺産等の周遊観光支援

- ◆世界遺産「平泉」を有する平泉町、および釜石市にある「橋野鉄鉱山」では、世界遺産登録後に入込客数が増加。
- ◆平泉来訪者の釜石市への立ち寄りが増加しており、横断道開通が周遊観光の促進に寄与。

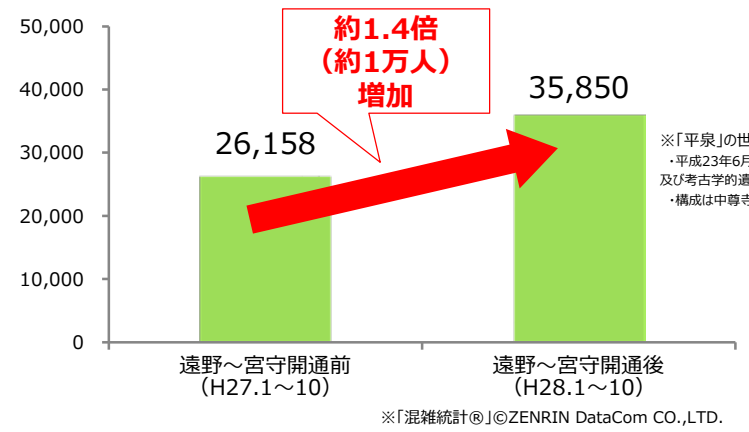
▼橋野鉄鉱山の観光入込客数の推移



▼滞在者数の増加と沿岸部への観光ルート



▼平泉から釜石市への立寄り者数の変化



《宿泊事業者の声》

◆遠野IC～宮守ICの開通によって、旅行会社やバス会社より**アクセス性が良くなったとの評判**がありました。(H28.11ヒアリング)

《釜石観光協会の声》

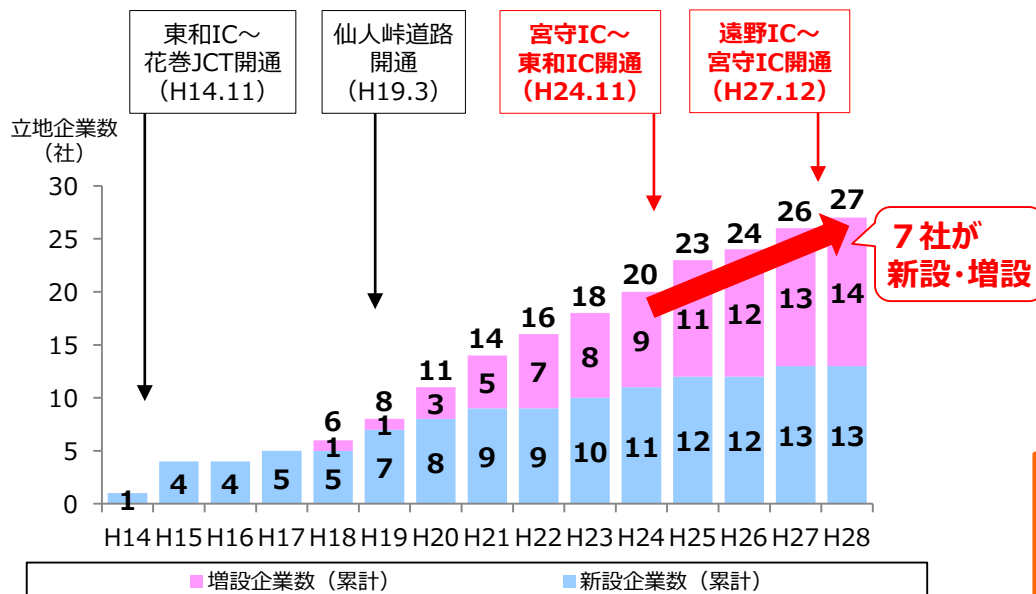
◆道路の開通も要因となり、**平泉から釜石へ、橋野鉄鉱山や三陸沿岸の観光地を巡る観光客が増えています。**(H29.2 ヒアリング)

資料：「混雑統計@」データ (平泉町滞在者を対象)
・値は「混雑統計@」データによる推計値であり、他の公表値とは一致しない
・H27:1月～10月、H28:1月～10月 (滞在時間15分以上でカウント)
※「混雑統計@」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最長5分毎に測定されるGPSデータ (緯度経度情報) であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

3. 事業効果の発現状況(8) 企業立地支援

- ◆横断道の順次開通により、遠野市へ企業の進出が加速。H25年以降、7社が新設・増設。
- ◆遠野IC～東和IC間開通後に、遠野東工業団地の拡張整備が決定(H28.3)し、企業誘致活動を支援。

▼遠野市へ新設・増設した企業数(累計値)の推移

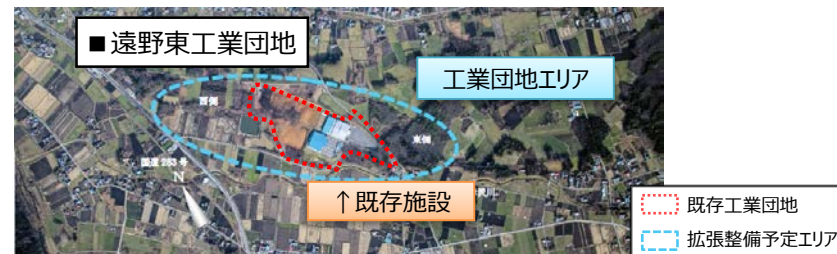


出典：遠野市



■遠野東工業団地

- ・既存工業団地売却済み・**拡張整備を決定**(H31年造成着手、H32～H37年までの完了を目標)



《遠野市の声》

- ◆道路の順次開通に伴い、**遠野市へ工場の増設・新設が増加**しています。
- ◆平成27年3月に**既存工業団地が完売**し、平成28年3月には**遠野東工業団地の拡張整備**を決定しました。更なる雇用の場の確保のため、工業団地整備に取り組んでいます。

(H29.3 ヒアリング調査結果)

遠野東工業団地を拡張へ
 釜石道開通見据え市30.4%、20年度までに
 遠野市は同市青笹町・上郷町の遠野東工業団地を拡張整備する。2018年度の東北横断自動車道釜石秋田線(釜石道)の全線開通による企業進出を見込み、20年度までに30.4%を新たに造成。事業費は概算で28億3800万円。整備後は既存の工場や用地と合わせて47.3%の工業団地になる。

29日の市議会全員協議会で説明した。同団地は釜石道の遠野住田インターチェンジから約4kmの場所にある。空気圧機器総合メーカーのS M C(東京)速

遠野市は同市青笹町・上郷町の遠野東工業団地を拡張整備する。2018年度の東北横断自動車道釜石秋田線(釜石道)の全線開通による企業進出を見込み、20年度までに30.4%を新たに造成。事業費は概算で28億3800万円。整備後は既存の工場や用地と合わせて47.3%の工業団地になる。

今回は団地の東側の13.8%と、西側の16.6%を拡張する。測量、設計、用地取得、造成工事などを県土地開発公社に委託するため、同団地整備事業特別会計を設置。特別会計への繰り出しは17年度一般会計補正予算案を市議会9月定例会に提案する。

事業費には県自治振興基金と公営企業債も活用。拡張する土地の地権者は約50人で、6月までに開いた説明会で協力を要請した。

同市の佐藤浩一環境整備部長は「釜石道の全線開通で物流や通勤の環境が良くなり、企業の進出意欲が増す。雇用の場を少しでも確保するため、企業誘致にも力を入れる」と話す。

資料：岩手日報(H29.8.30)

4. 事業計画の変更内容

- ◆宮守～東和のコスト削減額 39億円(全体事業費 542億円 → 503億円)
- ◆遠野～宮守のコスト削減額 31億円(全体事業費 237億円 → 206億円)

項目	【宮守～東和】 減額(億円)	【遠野～宮守】 減額(億円)	概要
①軟弱地盤改良の変更	30	15	大規模な軟弱地盤改良不要による削減
②防雪柵の整備延長変更	9	16	防雪柵の整備優先箇所を抽出し、整備延長を削減
合計	39	31	

【①軟弱地盤改良の変更】

当初計画

当該箇所周辺地盤の状況から、軟弱地盤改良の実施を想定して計画



【軟弱地盤改良：遠野住田～遠野の例】

変更計画

大規模な軟弱地盤改良は伴わず完成

【②防雪柵の整備延長変更】

当初計画

現道の冬期の地吹雪の状況から防雪柵を全線整備することで計画



【現道における地吹雪発生状況】

変更計画

土工概成後に現地調査を行った結果、防雪柵を全線整備では無く、地吹雪の影響が大きい箇所を優先的に整備する計画へ変更

	数量見直し	変動
①中層混合処理工	-165,000m ³	-17.1億円
①薬液注入工	-19,000m ³	-23.4億円
①路床改良工	-154,000m ²	-4.8億円
②防雪柵	-5,400m	-24.4億円
合計		-69.7億円

5. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

別添一覧表参照

6. 事業実施による環境の変化

評価対象区間については、工事の実施及び完成後も環境への影響は確認されていない。

7. 社会経済情勢の変化

○沿線の開発状況

- ・平成28年3月 遠野東工業団地の拡張整備が決定

○高規格幹線道路の整備状況

- ・三陸沿岸道路

平成26年3月 高田道路開通、平成27年11月 吉浜道路開通、平成29年11月 山田宮古道路開通

- ・東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）

平成30年度 釜石JCT～釜石西IC間（L=6.0km）、遠野住田IC～遠野IC間（L=11.0km）開通予定

8. 今後の事後評価及び改善措置の必要性

事業の目的に対する効果を概ね発現しているが、今後のネットワークの完成後に改めて事後評価を実施し、改善措置の必要性等を検討する。

9. 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 本事業は一般的な整備効果に加えて、釜石港へのアクセス向上による物流支援等地域特有の効果を発現している。

同種事業においても想定される地域特有の課題解消や整備効果等について、事業進捗とともに把握に努める必要がある。

- また、防雪柵設置区間見直し等によるコスト縮減を行っており、同種事業への反映に努める必要がある。